

2020 年度事業計画書

◎はじめに

次年度は、北海道におけるボランティアニーズのマッチング、おひとり様会、全国に向けた孤独死防止サービスの三事業を盤石にしていくとともに、「人々を幸せにする仕組みを共感力と創造力で構築する」ミッションの下、各顧客ニーズを感知して新規サービス構築を図ります。

1. ボランティアニーズマッチング

- ・ 月刊ボラナビは、継続して毎月1万5千部発行します。2ページのため、掲載記事選びとホームページとの連携が重要になると考えています。
- ・ サイト「ボラナビ・サーチ」で北海道の情報提供を続けますが、現在のホームページは2008年に開設したもので、12年を経て、システム変更を検討する時期に来ています。
- ・ その他の市民活動団体支援として、サイト上のコーナー「NPOのハテナ」「セルフヘルプの輪」「出張芸ボランティア」「北海道お茶の間めぐり」を続けます。

2. おひとり様会

- ・ 独身の方々の孤立を防ぎ、生きがいを感じていただけるように、毎月の会報誌発行、交流会やオフ会の開催、その他のサービス提供を続けていきます。
- ・ コロナによる社会的制限が厳しくなっていることを受け、北海道と東京の会員様限定の掲示板を開設します(20年4月15日開設済み)。

3. 孤独死防止サービス事業

- ・ 孤独死防止サービスは、週に一度、利用者様に弊社の無人電話に連絡をしてもらい、その着信記録をメールで確認します(NTT東日本のひかり電話「着信お知らせメール」を利用)。着信がなく、さらに利用者様と連絡がつかない時は、各利用者様が事前に登録する、別居のご家族や大家等、緊急連絡先者様に弊社から連絡します。利用者様に対する実際の安否確認行動は、各利用者様の緊急連絡先者様が行なうため、札幌市に所在する弊社が全国の方を対象にサービス提供できる仕組みです。
- ・ 新年度も日本郵便の年賀ハガキ助成を受けられることが決まりました(4年目)。引き続き、全国のひとり暮らしの方を対象に無料でサービス提供します。年賀寄附金助成活用事例に選ばれるなど、低コストで利用者満足度の高い本サービスには発展の余地があると考えます。
- ・ 2017年以來の年賀寄附金助成により、孤独死防止の啓発活動や、サービスの拡充を図ることができましたが、助成後を見据え、サービス向上とコスト削減のため、本サービスに関連する収益事業(スマートフォン用アプリケーション開発)や、弊社の他部門との相乗効果が得られる企画創出などにつなげていきたいと考えています。以上